

ライオンズグループ コーポレートスローガン決定!!

HAPPY チャージ

不定期発行!
ライオンズ新聞。(仮)

冬の稲妻編

発行日 2022年12月24日(土)
発行所 ライオンズ新聞部

私が編集長を担当する上で一番の悩みは何か、すごく悩みました。手作りのライオンズ新聞なので、私たちの最新な情報が一番良いと思いついて、コーポレートスローガン決定までの経緯をざっくりと書いていきます。

普通、こういった大事なことは偉い方々が決められて、従業員である私たちに伝えられるというのが一般的な流れではないでしょうか。

ライオンズはちよつと違うなと思つたことは、大事なことから皆で決めようとなつた訳です。こんなことあまり聞いたことがないですよ。

まずは有志で案を持ち寄り話し合いました。決め手に欠け、なかなかまとまりませんでした。そこで私たちがどう

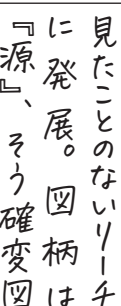
やって決めたかという、会社内で選挙を行うことにしたので。ご覧いただきたい。

このライオンズ新聞を作成した者が中心となり、選挙活動を展開、それも至つて真面目に自分たちも楽しみながら、選挙ポスターを作り、候補を紹介し、投票用紙も自分たちで作成。

投票箱はレンタルです。なんと本場の選挙で使用するものを長野市役所でお借りしました。

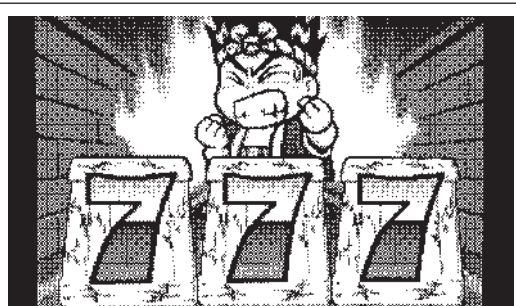
申請すると無料で借りられるんです。そんな流れで、社長からアルバイトスタッフまで平等に一票を持ち、これが良いと思う候補に投票して決めました。

『HAPPY チャージ』です。ライオンズに来られたお客様が少しでもハッピーな気持ちになつていただきたい、という私たちの想いが込められています。どうぞよろしくお願ひいたします。



最強の敵

史上最高に相性が悪い台、私にとつてのそれは間違いない初代『大工の源さん』である。今から二十五・六年前、スロットの調子が悪い時に打つていた。



当時爆裂出玉でホールを席巻していた台の筆頭である。設定が三段階あつて、分母は三七〇四三九。確変突入率は三分の一で二回ループということが特徴である。これが大量出玉を生み出す大きな要因で、一度確変を引けば、二回チャンスがあるということがあるのだ。

しかし、こいつが当たらない。一回につき、まあ確率ぐらいは回してたと記憶しているが、とにかく当たらない。意を決した私は本気の勝負に出た。場所はJR常磐線天王台という駅にあった某店の源さんと同時に大工の源さんを抑え、券売機にマッペーカードを十万円分購入。一緒に行った連れに『馬鹿なの?』と言われたが気にも留めず、源さんと勝負開始。一枚・二枚と戦死していくカード尻目にひたすら回す。そう、抽選をたくさん受ける以外の方々は無いのだ。そして何枚目かのマッペーカードで今まで見たことのないリーチに発展。四柄は『源』、そう確変四

柄である。後で知つた事だが発展したのは高速コンバアリーチ。一度も大当りしたことがない私は、高速に発展することすら知らなかったのだ。しかもノーマル四柄なら大当たり確定の激熱リーチだったらしい。しかし私の目の前で止まった四柄は、『源』のひとつ手前の『九』知識のある人なら軽く台パンしたくなるような事象だが、何にも知らない私は平然と打ち続けた。坦々と打ち続けること数時間、データランプの回転数は二〇〇〇を超え、軽く腕が痛くなつてきた私は、三〇〇〇円残っているカードを投げ捨て、スロットの島へ。よし、クランキーコンドルでポナス引いて帰ろう。福沢諭吉様が十一人ほど召された十九時過ぎ、その日の初ポナスいわゆるバケを引き、とりあえず源さんとはしばらく距離を置こうと決めたのである。